

このガイドは、デジタル機能の設定、撮影、再生方法を簡単に説明しています。撮影の際に本ガイドを携帯してご活用ください。詳しい説明については、EOS Kiss Digital N 使用説明書をお読みください。



日本語版

すぐ撮影するには

1 **バッテリーを入れる**

2 **レンズを取り付ける**
EF-Sレンズは白い指標、EF-Sレンズ以外は赤い指標に合わせて取り付けます。

3 **レンズのフォーカスモードスイッチを〈AF〉にする**

4 **CFスロットカバーを開け、CFカードを入れる**

5 **電源スイッチを〈ON〉にする**

6 **モードダイヤルを〈□〉(全自動)にする**
撮影に必要な設定がすべて自動設定されます。

7 **ピントを合わせる**
写したいものにAFフレームを合わせ、軽くシャッターボタンを押して、ピントを合わせます。

8 **撮影する**
さらにシャッターボタンを押して撮影します。

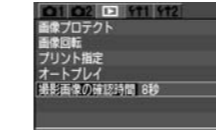
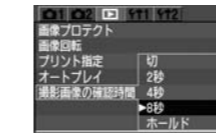
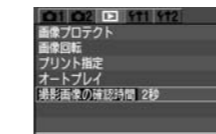
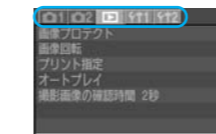
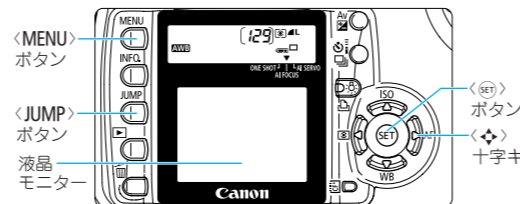
9 **撮影した画像を確認する**
撮影した画像が液晶モニターに約2秒間表示されます。

● 今までに撮影した画像を確認したいときは、〈▶〉ボタンを押して〈◀〉で画像を選びます。
● タイトル右の **応用** マークは、応用撮影ゾーン限定の機能です。簡単撮影ゾーンでは、撮影モードに応じて各機能が最適な状態に自動設定されます。

デジタル機能設定

メニュー機能の設定方法

基本操作は、液晶モニターを見ながら、カメラ背面の〈MENU〉ボタン、〈◀〉十字キー、〈SET〉ボタンで行います。



1 **メニューを表示する**
● 〈MENU〉ボタンを押すと表示されます。もう一度押すと表示が消えます。

2 **タブを選ぶ**
● 〈JUMP〉ボタンを押してタブ(系統)を選びます。
● 5つのタブが明るく表示されているときは、〈◀〉でも選ぶことができます。

3 **メニュー項目を選ぶ**
● 〈▲▼〉を押して項目を選び、〈SET〉を押します。
● この状態で、〈JUMP〉ボタンを押すと、タブの選択になります。

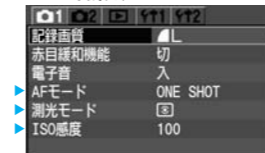
4 **メニュー内容を選ぶ**
● 〈▲▼〉または〈◀〉で内容を選びます。(内容により〈▲▼〉で選ぶ場合と、〈◀〉で選ぶ場合があります)

5 **内容を設定する**
● 〈SET〉を押すと設定されます。

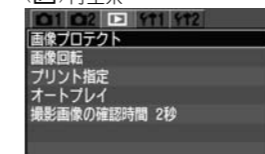
6 **設定を終了する**
● 〈MENU〉ボタンを押すと表示が消え、設定が終了します。

メニュー機能一覧

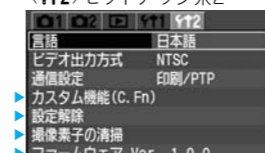
〈▶1〉撮影系1



〈▶2〉再生系



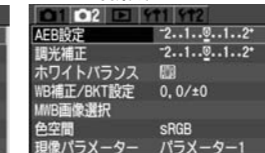
〈▶11〉セットアップ系1



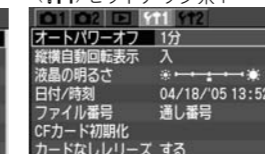
〈▶12〉セットアップ系2



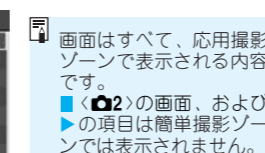
〈▶2〉撮影系2



〈▶11〉セットアップ系1



〈▶12〉セットアップ系2



ISO ISO感度



記録画質



| 記録画質 | 画素数 | 1枚のサイズ | 撮影可能枚数 | 連続撮影可能枚数 | プリントの目安 |
|-------|-------|--------|--------|----------|---------|
| L | 約800万 | 約3.3MB | 145 | 14 | A3以上 |
| M | 約415万 | 約2.0MB | 245 | 27 | A5~A4 |
| S | 約200万 | 約1.2MB | 419 | 80 | A5以下 |
| RAW | 約800万 | 約8.3MB | 58 | 5 | A3以上 |
| RAW+L | — | — | 41 | 4 | — |

* 簡単撮影ゾーンでは、RAW、RAW+Lは選択できません
* 撮影可能枚数、連続撮影可能枚数(EOS Kiss Digital N使用説明書54ページ参照)はキャノン純正512MB CFカード使用時の枚数

ISO ISO感度

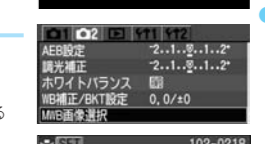
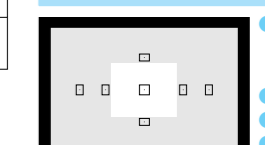


● 〈▲ISO〉ボタンを押します。
● 〈▲▼〉を押して項目を選びます。
低感度
ISO100
200
400
800
1600
高感度
明るい場所、静止している被写体(ノイズが少なく、きめ細かい画像)
暗い場所、動きのある被写体(やや粗い画像)

WB ホワイトバランス



マニュアルホワイトバランス

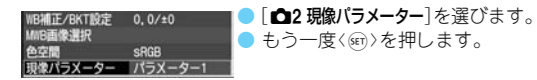


● 〈▼WB〉ボタンを押します。
● 〈◀〉十字キーを押して項目を選びます。

● ファインダーの中央に、白い無地の被写体がかかるようにして、適正露出で撮影します。
● [▶2 MWB画像選択]を選びます。
● 撮影した白い画像を選びます。
● [▶2 ホワイトバランス]を選びます。
● 〈◀〉十字キーを押して〈▶〉を選びます。

デジタル機能設定

現像パラメーター



● [**2** 現像パラメーター] を選びます。
 ● もう一度 **SET** を押します。

● **現像パラメーター** を選ぶ
 ● **<▲▼>** を押して選びます。

パラメーター1
 鮮やかでくっきりした仕上がり

パラメーター2
 やや控えめで自然な仕上がり

セット1~3
 パラメーターを任意に設定・登録

モノクロ
 白黒画像を撮影するとき

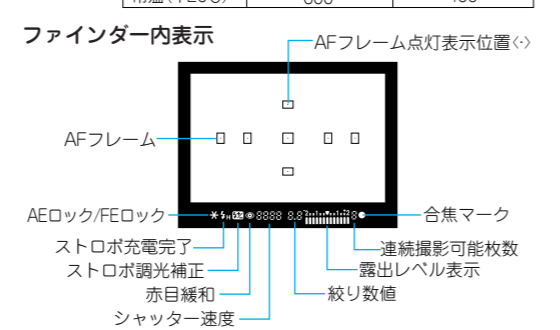
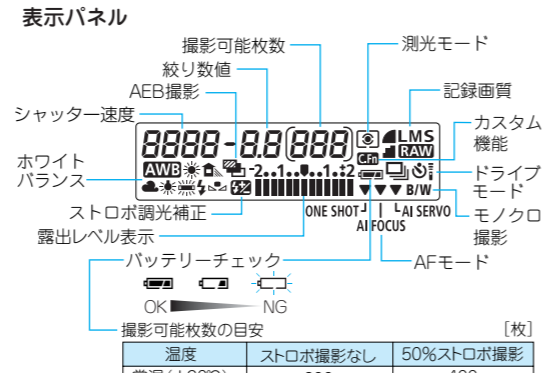
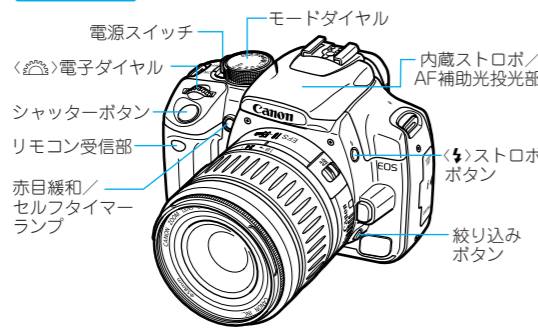
現像パラメーターを任意に設定・登録する

● [**セット1**] ~ [**セット3**] を選びます。
 ● **<▲▼>** を押して項目を選びます。
 ● **<◀▶>** を押して効果を設定します。

| 項目 | マイナス | プラス |
|--------|----------|---------|
| コントラスト | 明暗差・弱 | 明暗差・強 |
| シャープネス | 輪郭強調・控えめ | 輪郭強調・強め |
| 色の濃さ | 薄め | 濃いめ |
| 色あい | 肌色が赤め | 肌色が黄色め |

撮影操作

各部名称



簡単撮影ゾーンで撮影する

撮影に必要な設定がすべて自動設定され、シャッターボタンを押せば、カメラまかせて撮影できます。

- 撮影目的に応じた撮影モードを選びます。
- 被写体にAFフレームを合わせます。
- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせます。
- 表示を確認します。
- 構図を決め、シャッターボタンを全押しして撮影します。

● モードダイヤルを **<P>** にします。

応用撮影ゾーンで撮影する

シャッター速度や絞り数値を選択したり、露出を自分の好みに変えるなど、カメラの設定を思いどおりに変えることで、さまざまな撮影をすることができます。

PプログラムAE撮影

<□> と同じように、カメラがシャッター速度と絞り数値を自動設定します。撮影の手順は簡単撮影ゾーンと同じです。

- モードダイヤルを **<P>** にします。

Tv シャッター速度優先撮影

● モードダイヤルを **<Tv>** にします。
 ● **<▲▼>** を回し、シャッター速度を設定して、ピントを合わせます。
 ● 絞り数値が自動的に決まります。
 ● 絞り数値が点滅するときは、点灯に変わるまで **<▲▼>** を回します。

Av 絞り数値優先撮影

● モードダイヤルを **<Av>** にします。
 ● **<▲▼>** を回し、絞り数値を設定して、ピントを合わせます。
 ● シャッター速度が自動的に決まります。
 ● シャッター速度が点滅するときは、点灯に変わるまで **<▲▼>** を回します。

内蔵ストロボ撮影

簡単撮影ゾーン
 暗いときや日中逆光時に、内蔵ストロボが自動的に上がって発光します。(**<☹>** **<☼>** **<☼>** を除く)

応用撮影ゾーン

<☼> ボタンを押して、内蔵ストロボを上げてから撮影します。

AF AFモード

● レンズのフォーカスモードスイッチを **<AF>** にします。
 ● **<▶AF>** ボタンを押します。
 ● **<▲▼>** を押して選びます。

ONE SHOT (ワンショットAF)
 止まっている被写体を撮るとき

AI FOCUS (AIフォーカスAF)
 AFモードを自動切り換え

AI SERVO (AIサーボAF)
 動いている被写体を撮るとき

AFフレーム

● **<☼>** ボタンを押します。

● **<◀▶>** 十字キーを押して選びます。
 ● 一番端のAFフレームから1つ進めると自動選択になります。
 ● **<SET>** を押すと、中央AFフレームの選択と自動選択を切り換えることができます。
 ● **<▲▼>** でも選択できます。

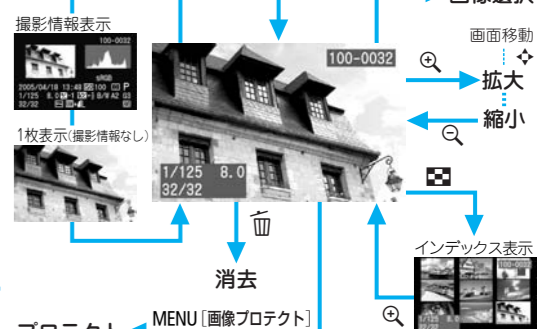
内蔵ストロボの届く距離

| ISO感度 | 広角: 18mm | 望遠: 55mm |
|-------|----------|----------|
| 100 | 約1~3.7m | 約1~2.3m |
| 400 | 約1~7.4m | 約1~4.6m |
| 1600 | 約1~14.9m | 約1~9.3m |

(EF-S18-55mm F3.5-5.6 II USM 使用時)

再生操作

再生操作



撮影情報表示

